



KAPATIRAN TIMES

カパティラン・タイムズ

2023年3月 No.41

〒105-0011 東京都港区芝公園 3-6-18 日本聖公会東京教区事務所内
Tel&Fax:03(3432) 6449 E-mail:kapatiran.tko@nssk.org
編集:山崎常城・永瀬良子

「フィリピンの方々に学ばせていただいて」

日本聖公会横浜教区 司祭ラファエル宮崎仁

私事で昔のことで恐縮ですがウィリアムス神学館 3 年夏に教区による実習として 1997 年「立教大学ヒューマンリレーションフィリピンキャンプ(以下キャンプ)」に参加させていただいたことを以下に記します。

キャンプはルソン島北部にある山岳州(マウンテンプロビンス)の北部中央フィリピン教区で行われました。現地へは首都マニラから車で 3 日かかりました。ガードレールのない未舗装の山道で、崖崩れが多くありました。ホームステイ先の村は、電気もガスもトイレも風呂も無く、物々交換が主流である自給自足の生活の地でした。村は急峻な斜面にあり、ほぼ棚田で覆い尽くされていました。農作業は機械の無い昔からのやり方で行われていました。

私はギナーンという村でお世話になりました。過去の日本軍による戦争のため村内には 65 歳以下の人々しかおられません。村の人々は皆明るく元気で親切でした。キャンプの最後にはマニラ市の隣ケソン市サウヨ地区(スラム)でのホームステイもありました。

キャンプ終了時に、学生たちから「皆が親切だったのはなぜか?皆クリスチャンだと聞いていたが、そんな雰囲気は感じなかったがなぜか?」と質問をいただきました。私は「こちらの都合で予定を崩しても、現

地の人々は文句も言わず急かすことなく辛抱強く何時も待っていてくださっていたことを覚えていますか?待つことは、相手を自分よりも大切な存在として尊重することです。他人に対して謙遜になり誠実に接するという親切を日常で行っていたことは、キリスト教信仰を語らずとも体現していることです。」と答えました。質問者たちは皆納得していました。

私は「戦争によって家族を殺され、憎しみも恨みも消えない中にありながら、日本人を拒絶せず、謙遜と誠実を尽くされたフィリピンの方々は、キリスト教信仰の真髄である神の愛を実践されておられた」ことを学ばせていただき感謝でした。

若い人たちに大切な学びと経験になるからとのお考えでキャンプを始められ 20 年以上も継続して関わられ、現地と大学との信頼構築に尽力された神崎雄二司祭様(フィリピン聖公会アンデレ神学校卒業)のお働きを知ることができ、深く敬服の中、重ねて感謝でした。

聖餐式(現地高校の全校集会)にて「人と人との関係は、言葉より大切なのは心だ」とのお話を神崎司祭様がなされた時、キャンプに参加した学生たちが、目を潤ませながら感動していた姿を思い出します。



今年もカパティランから卒業生が誕生します。ご支援ありがとうございました。これからも関係を続けていきたいと願っています。

大学時代の振り返り

E.B 大学4年(ロシアルーツ)

私の信念は「何事にも挑戦」です。もともと外国出身で日本文化や常識にあまり詳しくない私は、大学では出来る限り多くの物事に挑戦し、実際に得られる体験を重ねることによって日本の神髄に触れることにしました。

私はロシア出身で、英語、ロシア語、日本語の3か国語を話すことが出来ます。両親の仕事の都合で小学校時代に日本に移住しました。受験勉強に力を入れて入学した大学では法学部に所属して法律と言語学を学ぶことが出来ました。特に学びの多かったのが上級学年で所属していた国際法のゼミの活動です。法律文献の翻訳に取り組み、日本の法制度と海外の法制度の比較を行うことで法律の学びと翻訳のこだわりの両方について学ぶことが出来ました。

学業に熱心に取り組みながらも複数の言語が話せることを生かそうと授業外の時間も様々な活動に取り組みました。サークル活動としては教育支援とイベント企画の二つに所属し、活動しました。チャータースクールへの教育支援というサークルではハワイの子ども達への教育支援をしています。活動をはじめた最初の年は長期休みを用いて現地に渡航し、現地授業に参加して英語や数学の授業の補助をしたり、折り紙やけん玉を用いて日本文化を伝える授業を行っていました。しかし、コロナ禍で現地へ渡航すること

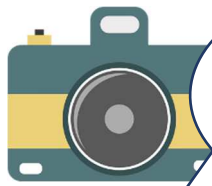
が出来なくなるとオンラインで授業に参加し、ハワイの子ども達に日本文化を伝える活動に力を入れるようになりました。観光地以外のハワイの側面を知っただけでなく、現地に関わることが出来ない中でも工夫をして活動を継続することが出来ると学ぶきっかけになりました。それに加えて、イベント企画のサークルにも所属していました。そこではコロナ禍の消費の落ち込みにより打撃を受けた大学周辺の商店街の復興イベント等、多数のイベントを企画しました。最初はなかなか人が集まらず、苦戦することが多かったのですが、多様なメディアを用いて宣伝方法を工夫したり、参加者に有利な特典を付けることでコロナ禍でも客足が戻ってきた商店街を作り出すことに成功しました。

また、複数の言語が話せることを生かし、授業外の時間は日本語授業ボランティアとして外国出身学生に日本語を教えたり、留学生のレジデンスアシスタント(RA)として留学生の補助や寮内の交流促進のためにイベント企画に力を入れました。この仕事では特に留学生と日本学生の間言語の壁を如何に取り除くのか、多様な寮生に興味を持ってもらうイベントを企画する方法に頭を悩ませることが多かったです。その中でInstagramなどの SNS を活用したり、交換ノートや世界地図の壁を作るなど言語や場所に関係なく参加できるイベントを考案して寮生の交流を促進することができました。この仕事を通して目的のためにどのような方法があるのかを考え、困難に直面した際には修正しながら忍耐強く目標達成のために物事に取り組むことを体験することが出来ました。

特にコロナにより授業が全てオンラインになり環境がこれまでとはガラリと変わって家で過ごす時間が増えたことで、このままでは何もせずに大学時代が終わってしまうのではないかと焦りに駆られて足を踏み出し、上記に挙げた主要な活動以外にもいろいろな体験をすることが出来ました。

コロナ禍で不安な中で夢や目標を掲げ、それぞれに努力しているカパティランの学生たちに出会うことが出来たのも大学時代の収穫です。それぞれの目標に向かって陰ながら努力する仲間にも恵まれたことが大学時代の一番の戦利品であるように感じています。

私の好きな言葉の一つにヘレン・ケラーが仰った「真の知識を得ようと望むものは、誰でも艱難の山を登らねばならない。頂上へは真っ直ぐな道がなく、曲がりくねった道を右往左往しながら人を助け助けられて上らなければならない。」という言葉があります。この言葉の意味を身をもって体感出来た大学時代であったと思います。大学を終え、大学院へと移る一区切りのこのタイミングで改めて大学時代を見直し、人生の次のステージへの目標を立てたいと考えます。



学生、卒業生から写真が届きました！



農業を始めました！



成人式の写真を撮りました！

クレジットカード決済

☆支援方法が増えました！



今まで、何度も問い合わせをいただいていたクレジットカード決済を導入いたしました。ホームページの「ご支援方法」のページからご利用ください。「今回のみ寄附」、「毎月寄附」が選択いただけます。いただいたご寄附は奨学金、ごはん会の食材費、学生たちの交通費などのために使わせていただきます。ご支援よろしくお願いたします！

《ご支援方法》

■郵便振替

名 義:カパティラン
振替番号:00190-3-581517

■銀行振込

三菱東京UFJ銀行 虎の門支店(041)
名 義:カパティランササモリタツ
振替番号:0150100

■インターネット

Giveone カパティランで検索
<http://www.giveone.net/>
※寄附金控除・税額控除あり
・多文化共生ホームステイ
・奨学金

■クレジットカード決済 **NEW!**

(HP または以下 QR コードからアクセスしてください)

今回のみ寄附

その都度寄附
ができます。



毎月寄附

500円～自由な金額
で毎月継続寄附が
できます。



■皆様のお支えに心から感謝申し上げます。

2022年9月～2023年1月（順不同・敬省略）

《個人献金》

2022年9月

岡本昌三	金井玲子	小川弥生
加納美津子	宮崎仁	上原成和
関晴子	蒔田裕光	川崎葉子
畑井正春	飯塚みや子	辻政子
藁谷さた	木村真理子	倉敷信(英子)

2022年10月

安達真理子	菅谷恵康	高橋宏幸
-------	------	------

2022年11月

菅谷恵康	蒔田裕光	飯塚みや子
横内光乃	春名進	川崎葉子
兼子佐与子	松岡道子	鈴木慰
梅田みさ子	木村真理子	藁谷さた
保坂久代	匿名1名	
トーマス・テハン	北村アイリーン	

2022年12月

安次嶺佳子	塚本祐子	保坂久代
安達真理子	蒔田裕光	豊田純子
加藤純子	小川弥生	木村真理子
加納美津子	菅谷恵康	木島出
金井玲子	川崎葉子	野村紘子
犬塚靖子	大森明彦	藁谷さた
戸塚泰子	大谷偕子	藤井美佐子
今泉裕子	東江衿子	三浦良子
匿名1名	八王子復活教会信徒	

2023年1月

安藤裕子	金井玲子	畑井正春
藁谷さた	司祭前田良彦	

《多文化共生》

関澄子	Iwami
-----	-------

《奨学金》

安次嶺佳子	岸まち子	根岸恵子
安藤裕子*4	犬塚靖子	蒔田裕光
関澄子	戸田晴美	春名進
関晴子	今泉裕子	小田京子*3
早川裕美子	辻政子	藁谷さた*4
中村由佳	田中弥生*2	中野京子
匿名2名	市原信太郎・誉子	
wild flower	北村アイリーン	

*数字は献金いただいた回数です。

《後援会費》

伊藤英子	岸まち子	三原一男
岡田順子	大竹邦子	藁谷さた
木澤洋子	横内光乃	吉田昌夫
高本範政	三浦良子	大竹邦子
青山博子	蒔田裕光	中野京子
東江衿子	西原廉太	倉敷信(英子)
加納美津子	宮田裕三・美樹	飯塚みや子
匿名1名		

《教会・学校・諸施設・企業など》

小金井聖公会	葛飾茨十字教会
神愛教会	聖ルカ礼拝堂
聖パウロ教会	目白聖公会
聖救主教会	聖愛教会
大森聖アグネス教会	東京諸聖徒教会
東京聖テモテ教会	東京聖十字教会
東京聖マリア教会	八王子復活教会*5
宮古聖ヤコブ教会	大阪聖愛教会
帯広聖公会	富山聖マリア教会
ハワイアンコーヒー	
日本キリスト教団わかちあい基金	
聖救主教会キッドスクール	
香蘭女学校校友会保坂久代	



facebook

いいね！で支援



シェア大歓迎！

聖路加国際大学聖ルカ礼拝堂訪問

2023年1月29日、信徒さんによるみ言葉の礼拝の中で、カパティランのお話をさせていただきました。聖ルカ礼拝堂の皆様、暖かくお迎えいただきありがとうございます。いつも支えてくださる支援者様のお顔を見て、お話できたことをうれしく思っています。これから少しずつ、教会訪問を再開させていきたいと思っています。

